第三条　警備員指導教育責任者及び機械警備業務管理者に係る講習等に関する規則の一部（警備員指導教育責任者及び機械警備業務管理者に係る講習等に関する規則（昭和五十八年国家公安委員会規則第二号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改め、対象規定は、その標記部分が異なるものは改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正前欄に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削る。

改正後	改正前
別記様式第３号（第７条、第12条関係） ※　受理警察署　　署 ※　受理番号　　※　受理年月日　　年　月　日 ※　再交付年月日　　年　月　日 警備員指導教育責任者講習 機械警備業務管理者講習　修了証明書再交付申請書 年　月　日 公安委員会　殿 申請者の氏名 申請者：〔フリガナ〕／氏名／住所／電話（　）－　番／生年月日　明治 大正 昭和 平成 令和　年　月　日　1 2 3 4 5／本籍又は国籍 修了証明書：番号　第　号／交付年月日　昭和 平成 令和　年　月　日／受講期間　年　月　日から　月　日まで 再交付を申請する事由 （警備員指導教育責任者講習修了証明書の再交付を申請する場合） 講習に係る警備業務の区分　１号　２号　３号　４号 記載要領 １　※印欄には、記載しないこと。 ２　不要の文字は、横線で消すこと。ただし、数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。 〔削る。〕 ３　「再交付を申請する事由」欄には、亡失又は滅失の状況を記載すること。 ４　「講習に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。 ５　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。 備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。	別記様式第１号（第４条、第13条関係） ※　資料区分　　※　受理警察署　　（　署） ※　受理番号　　※　受理年月日　　年　月　日 ※　資格　１．警備員指導教育責任者　２．機械警備業務管理者 ※　修了証明書交付年月日　　年　月　日　※　種別 ※　修了証明書交付公安委員会　※　修了証明書の番号 警備員指導教育責任者講習 機械警備業務管理者講習　受講申込書 年　月　日 公安委員会　殿 申込人の氏名 申込人：（フリガナ）／氏名／住所／電話（　）－　番／生年月日　明治 大正 昭和 平成 令和　年　月　日　1 2 3 4 5／本籍又は国籍　※ 受講希望期間　年　月　日から　月　日まで 実施：※受講期間／※受講場所／※考査の結果　合　・　否 ６か月以内に撮影した無帽、無背景の顔写真を貼ること。 撮影　年　月　日 （警備員指導教育責任者講習の受講を申請する場合） 受講を希望する講習に係る警備業務の区分　１号　２号　３号　４号 既に取得している資格者証に係る警備業務の区分　１号　２号　３号　４号 記載要領 １　※印欄には、記載しないこと。 ２　不要の文字は、横線で消すこと。ただし、数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。 〔削る。〕 ３　「受講を希望する講習に係る警備業務の区分」欄及び「既に取得している資格者証に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。 備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。
別記様式第３号（第７条、第12条関係） ※　受理警察署　　署 ※　受理番号　　※　受理年月日　　年　月　日 ※　再交付年月日　　年　月　日 警備員指導教育責任者講習 機械警備業務管理者講習　修了証明書再交付申請書 年　月　日 公安委員会　殿 申請者の氏名　㊞ 申請者：〔フリガナ〕／氏名／住所／電話（　）－　番／生年月日　明治 大正 昭和 平成 令和　年　月　日　1 2 3 4 5／性別　1．男　2．女／本籍又は国籍 修了証明書：番号　第　号／交付年月日　昭和 平成 令和　年　月　日／受講期間　年　月　日から　月　日まで 再交付を申請する事由 （警備員指導教育責任者講習修了証明書の再交付を申請する場合） 講習に係る警備業務の区分　１号　２号　３号　４号 記載要領 １　※印欄には、記載しないこと。 ２　不要の文字は、横線で消すこと。ただし、数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。 ３　申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。 ４　「再交付を申請する事由」欄には、亡失又は滅失の状況を記載すること。 ５　「講習に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。 ６　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。 備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。	別記様式第１号（第４条、第13条関係） ※　資料区分　　※　受理警察署　　（　署） ※　受理番号　　※　受理年月日　　年　月　日 ※　資格　１．警備員指導教育責任者　２．機械警備業務管理者 ※　修了証明書交付年月日　　年　月　日　※　種別 ※　修了証明書交付公安委員会　※　修了証明書の番号 警備員指導教育責任者講習 機械警備業務管理者講習　受講申込書 年　月　日 公安委員会　殿 申込人の氏名　㊞ 申込人：（フリガナ）／氏名／住所／電話（　）－　番／生年月日　明治 大正 昭和 平成 令和　年　月　日　1 2 3 4 5／性別　1．男　2．女／本籍又は国籍　※ 受講希望期間　年　月　日から　月　日まで 実施：※受講期間／※受講場所／※考査の結果　合　・　否 ６か月以内に撮影した無帽、無背景の顔写真をはること。 撮影　年　月　日 （警備員指導教育責任者講習の受講を申請する場合） 受講を希望する講習に係る警備業務の区分　１号　２号　３号　４号 既に取得している資格者証に係る警備業務の区分　１号　２号　３号　４号 記載要領 １　※印欄には、記載しないこと。 ２　不要の文字は、横線で消すこと。ただし、数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。 ３　申込人は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。 ４　「受講を希望する講習に係る警備業務の区分」欄及び「既に取得している資格者証に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。 備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

備考　表中の［　］の記載は注記である。